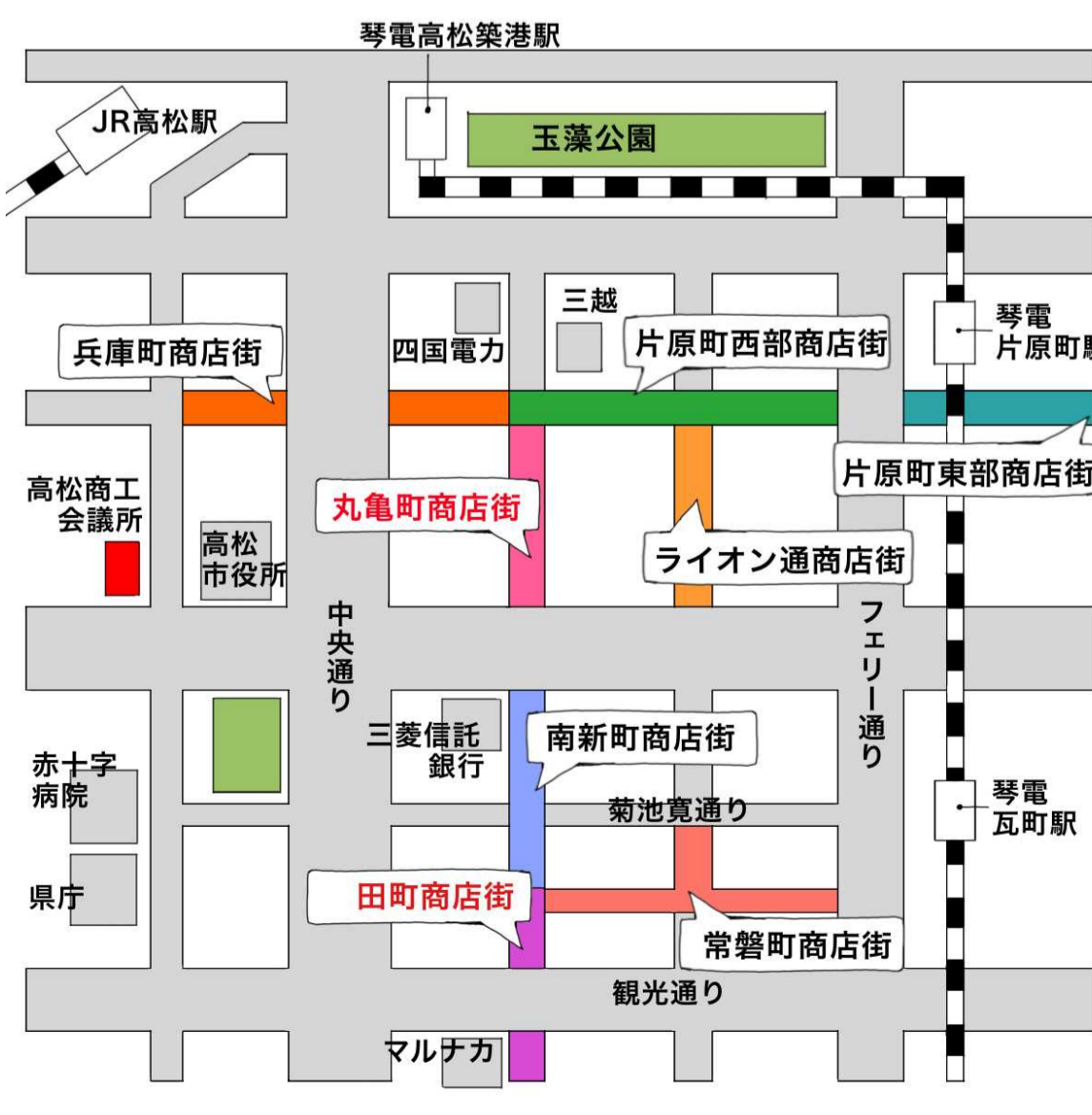




商店街の新しい姿 ~セカンドライフの提案~ 伊東涼乃

背景 現状と計画目的 計画敷地



田町商店街の現状

1. 空き店舗が多い
 大型スーパー、ドラッグストアなどは国道沿いに建設されているため、アーケード内に人が立ち入らない



2. 自転車の保有率が高い
 香川県全体の自転車保有率が高く、アーケード内も自転車を利用する人が多くみられ店舗に立ち寄ることがない

3. 地域別自転車保有台数の推計

2021年一世帯当たり保有台数(台)

徳島県	0.961
香川県	1.109
愛媛県	1.084

2021年・2022年 自転車保有台数の推計(jbpi.or.jp)より

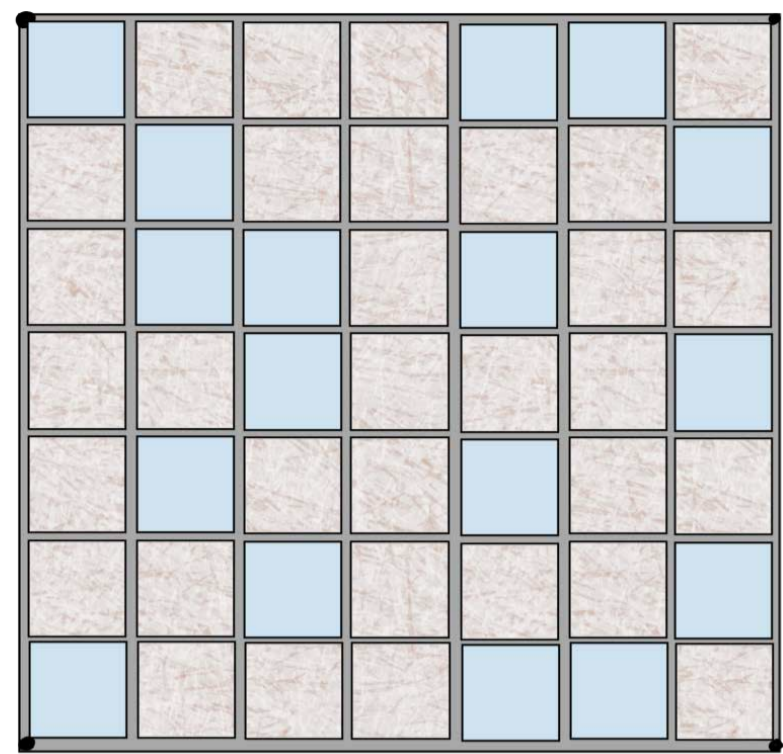


1) 香川県高松市田町商店街
 東西南北に連なる高松中央商店街復興組合連合会(アーケード街8町)の一員で、南の端に位置している。県道を挟み全長380メートル、道路幅11メートルのアーケード街。南北を分断している県道より北の町はファッション性のある店舗で形成され、南の町は中堅スーパーを中心に、衣食住を取り扱う日常生活用品の店舗などによって形成されている。



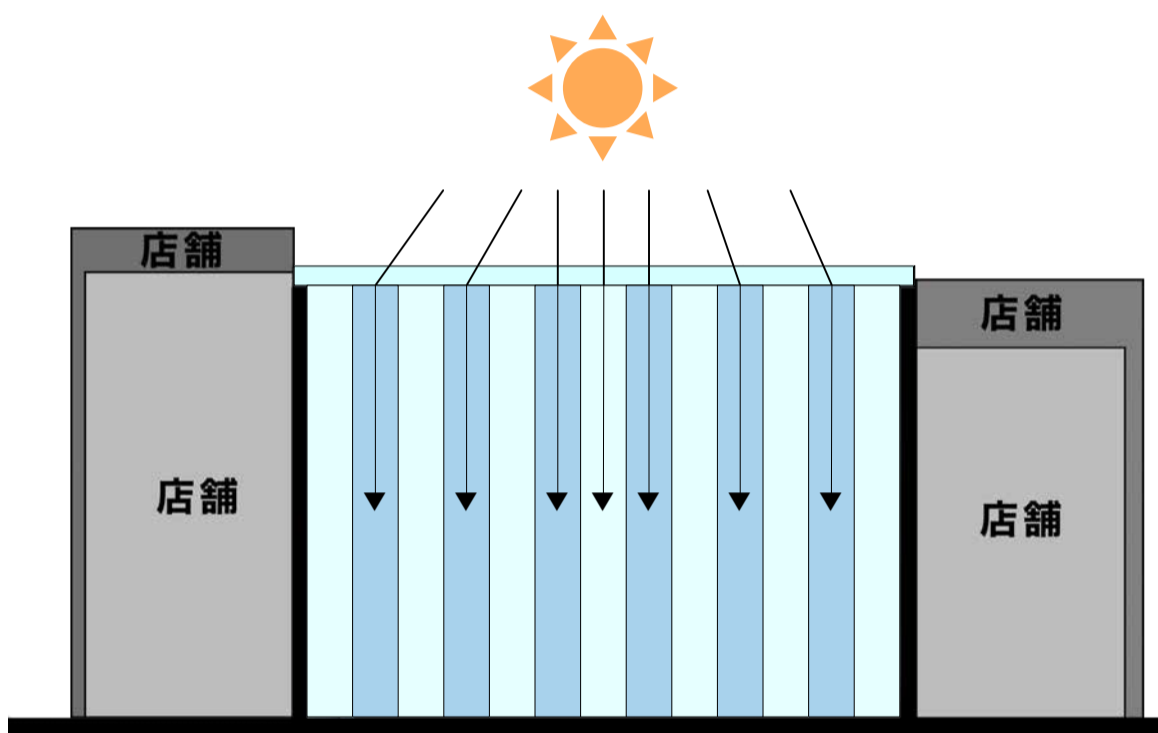
計画概要

●採光性のあるアーケードに改築

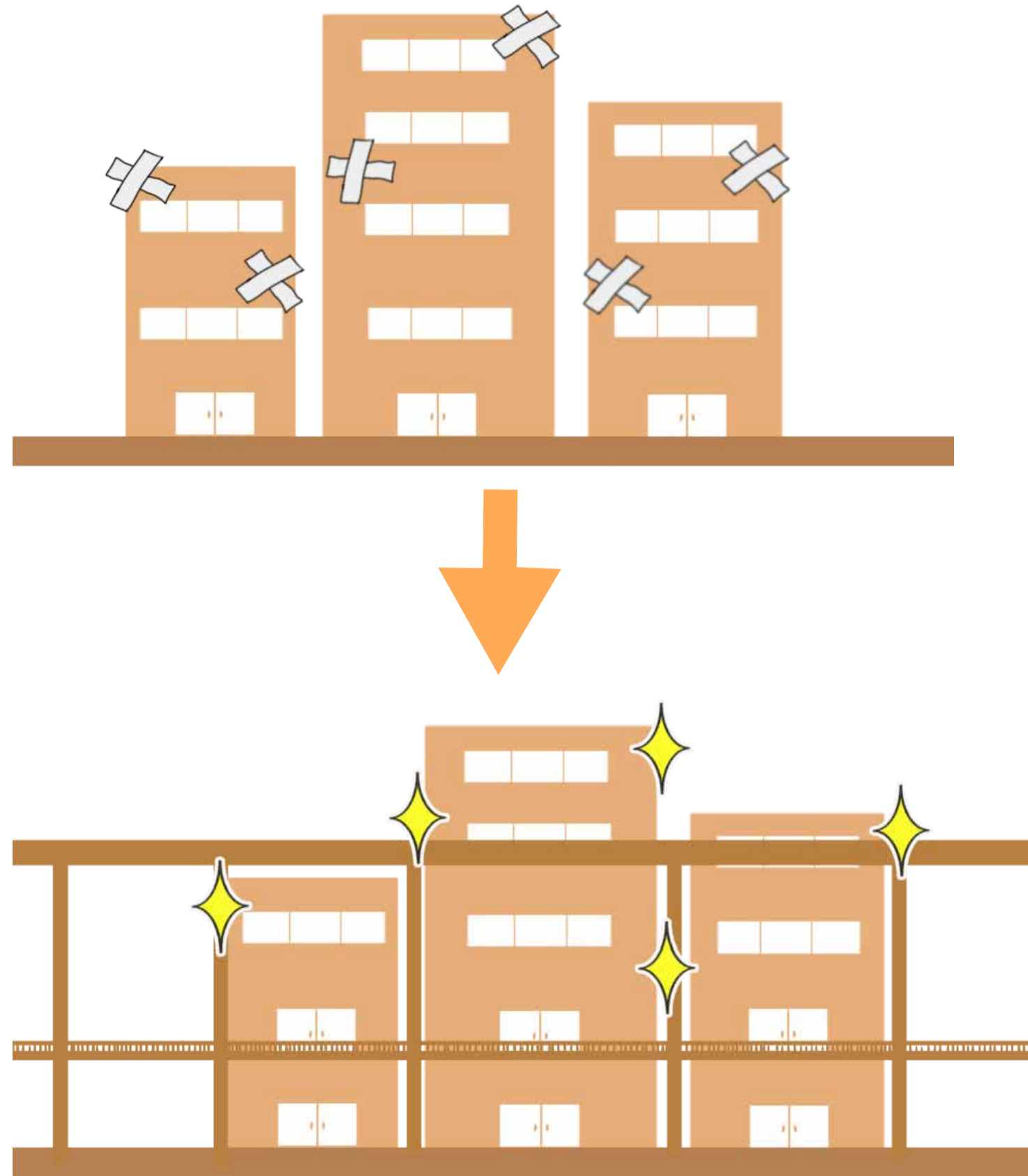


▲商店街からアーケードを見上げた図

▼ ガラスと和紙を使い分けることで採光に違いを持たせる

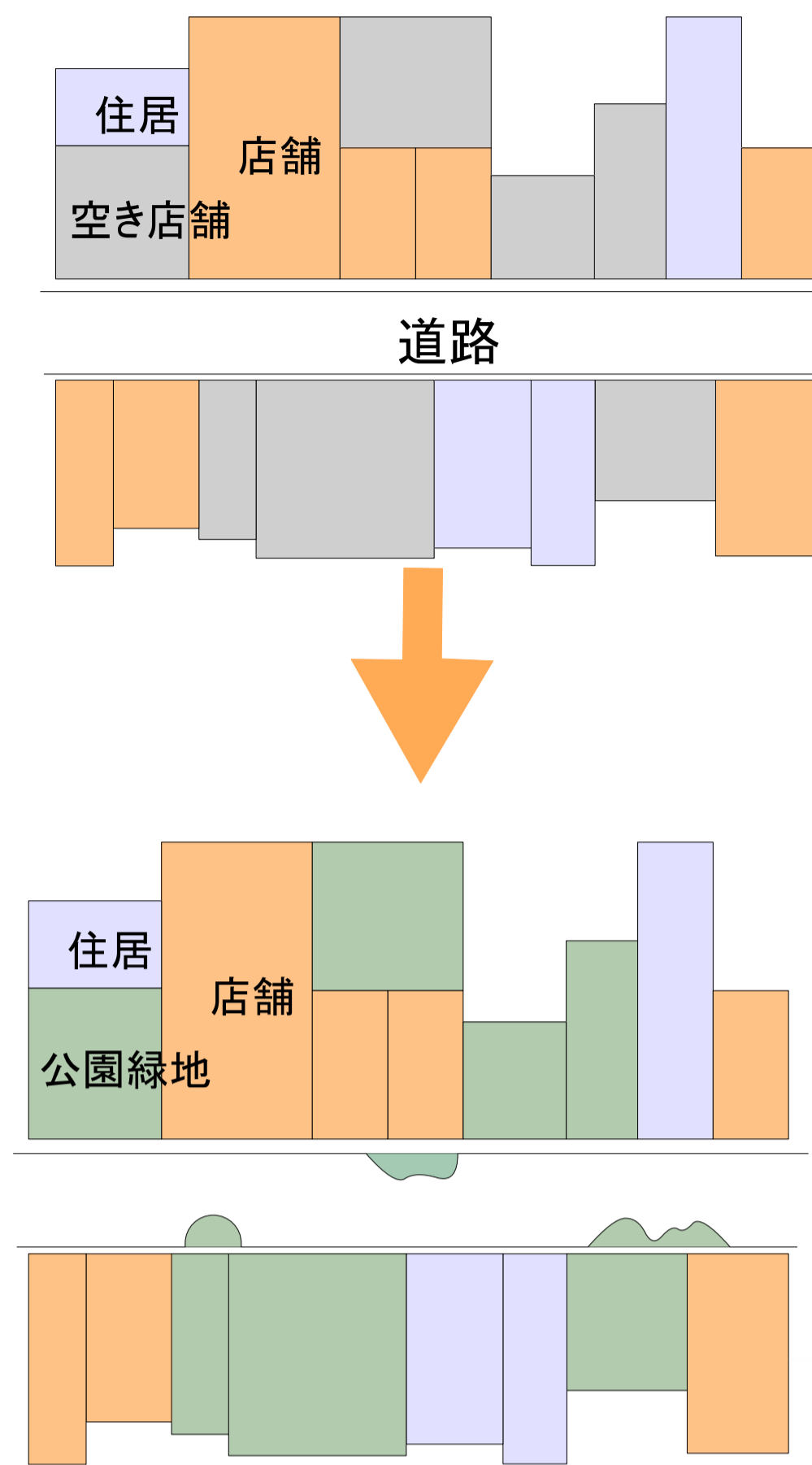


●既存の建物の改築と2階レベルのデッキ

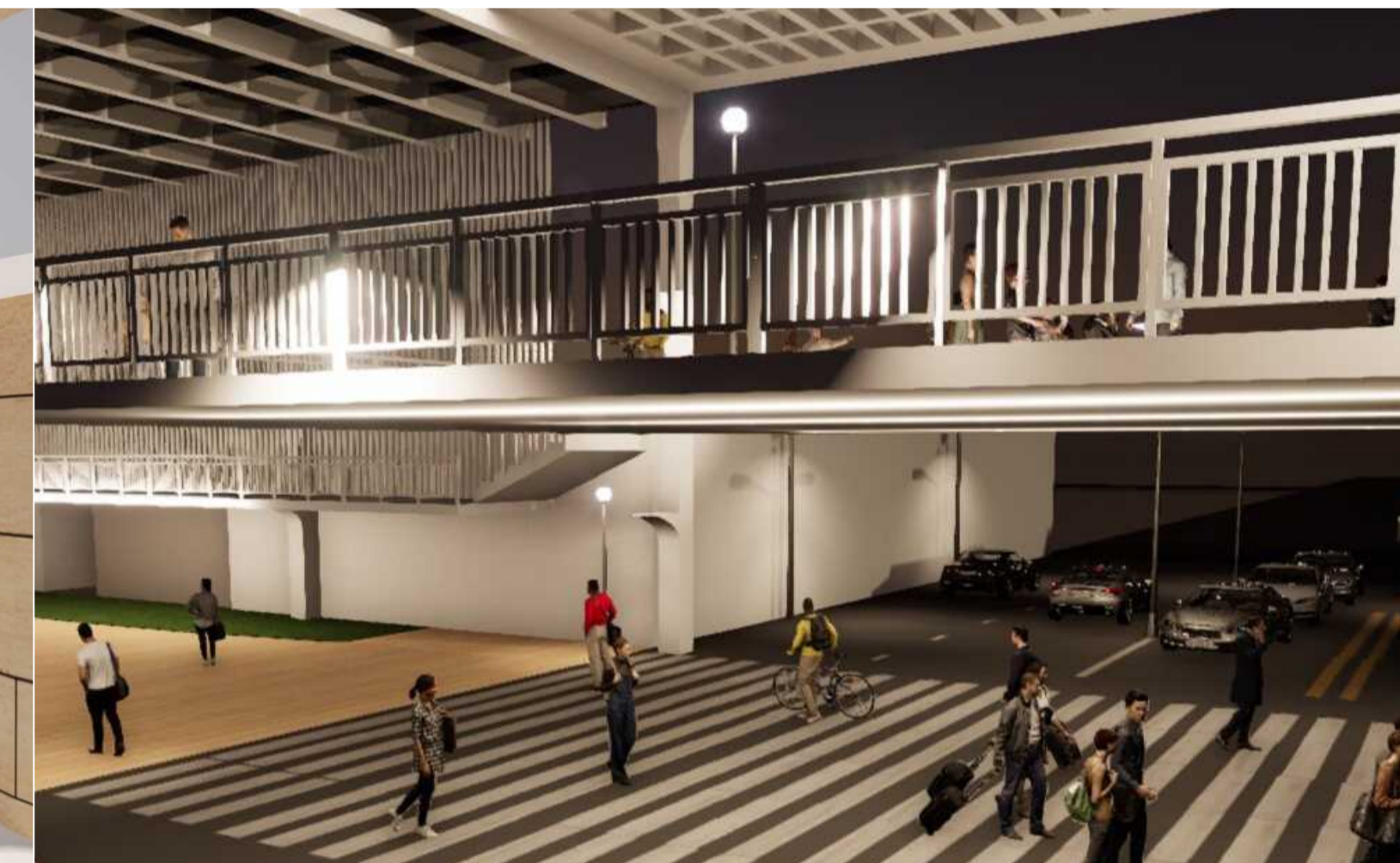
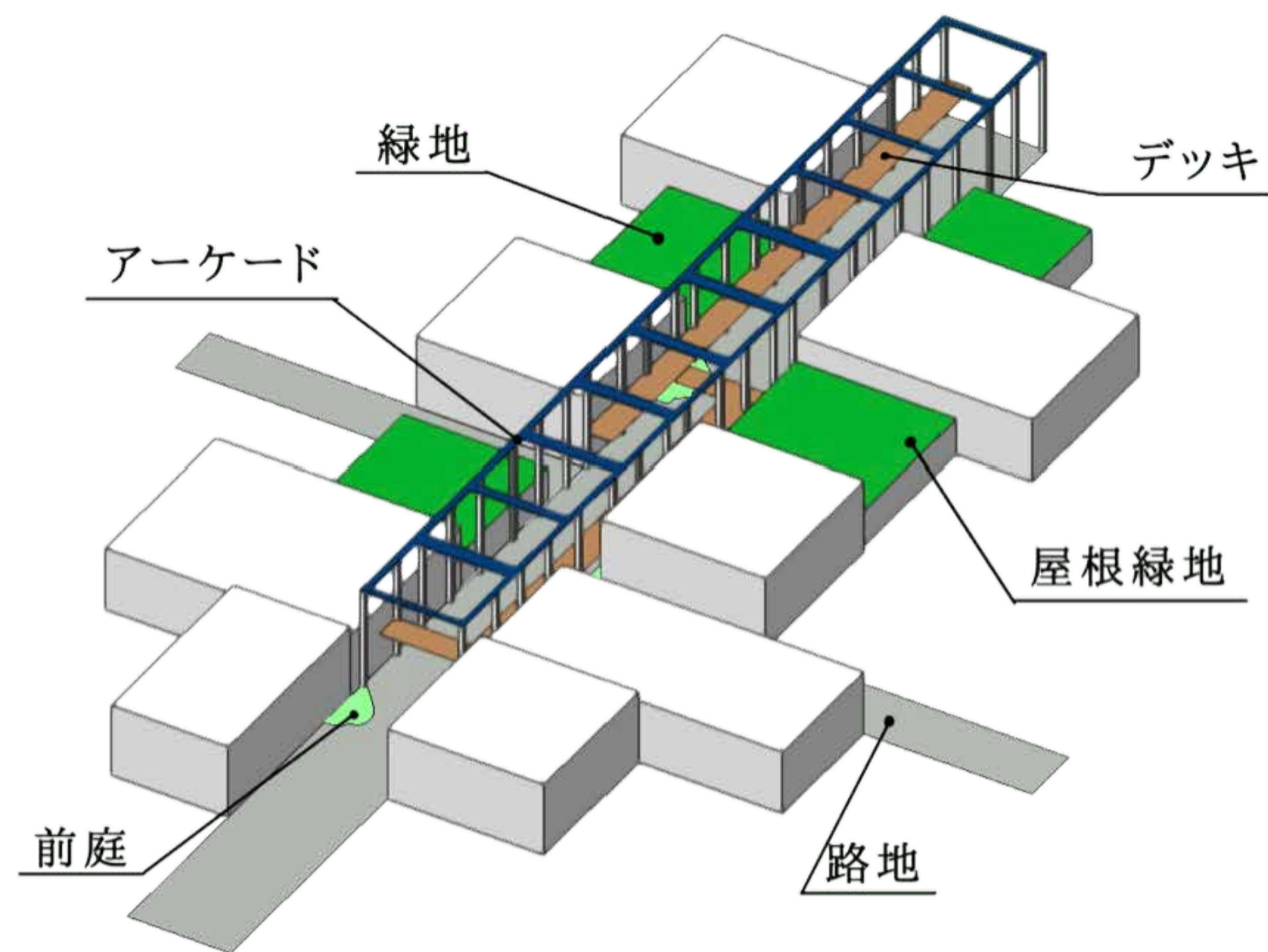


アーケードデザインに合わせた建物の改築
2階レベルにデッキを設けることによりどこからでも自由に入出入りできる

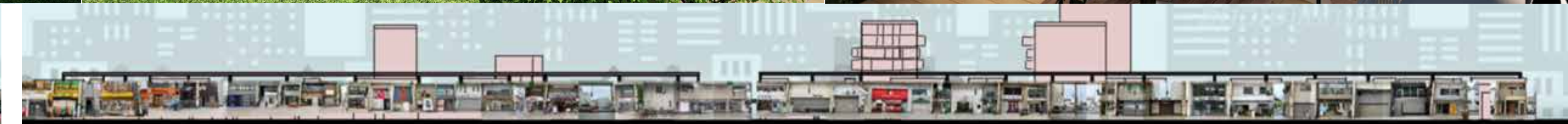
●商店街の公園化、緑地化



●商店街の構成図



商店街 東側立面図



商店街 西側立面図